



福山大学  
FUKUYAMA UNIVERSITY

# 学報

2014.4.3 Vol. **140**

## 三蔵五訓

真理を探究し、道理を实践する。  
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。  
生命を尊重し、自然を畏敬する。  
個性を伸展し、紐帯性を培う。  
未来を志向し、可能性に挑む。



## 祝入学

### 目次

|                        |     |                |    |
|------------------------|-----|----------------|----|
| 平成26年度 入学式 学長告辞 .....  | 1   | 学友会短信 .....    | 8  |
| 平成26年度 入学式 理事長挨拶 ..... | 2   | 留学生体験記 .....   | 9  |
| 学習に取り組む前に .....        | 3~4 | 学内TOPICS ..... | 10 |
| キャンパスライフへの指針 .....     | 5~7 | 行事予定 .....     | 11 |



## 夢を目標に変えて、アクティブに学ぼう！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ、福山大学においでくださいました。福山大学教職員一同、そして在学生一同、新しい仲間を迎えることができたことをこころから喜び、こころから歓迎します。また、ご臨席のご家族の皆様には、ここまで育て、そして福山大学へと、物心両面でご支援いただきましたこと、こころより感謝申し上げます。新入生とご家族の皆様のご期待に十二分に応えて、これから卒業までの期間、新入生の皆さんの広範な人間形成に向け、教職員一同全力を挙げて取り組む所存です。ご家族の皆様には、引き続きの物心両面でのご支援を、よろしくお願いいたします。

福山大学は、今年創立39年目を迎えます。卒業生総数は約33,000人で、その中から備後地域を中心に、地域のリーダーや中核となる人材を次々と輩出しています。創設者による建学の精神は、「学問のみに偏重するのではなく、真理を愛し、道理を实践する知行合一の教育によって、人間性を尊重し、調和的な全人格陶冶を目指す全人教育」ですが、この精神は5学部14学科、4研究科13専攻を擁する人文社会系、理工系、医療系のそろった中国地方有数の私立総合大学となった今日まで、脈々と続き、私ども教職員が行う教育支援の中心的理念となって受け継がれています。

さて、皆さんは大学というところによどのようなイメージを持っておられますか。大学、とりわけ大学教育は、ここ数年大きく変わりつつあります。それは、社会の変化があり、そしてそれゆえに社会が大学卒業生に期待するものに変化があるからです。社会は大きく変わっています。その1つは、グローバル化です。あらゆる企業や自治体が世界と関わり、つながっています。次に、情報技術・情報通信技術の急激な進歩です。コンピュータネットワークは、社会の存在形態そのものを大きく変えてきています。そして、3番目に、我が国が先進諸国の中でいち早く、急速な人口減少を伴う少子超高齢化社会の入り口に來たことです。これらの変化からは、正答のない、正答に至る解法の分からない大小の課題・難問が、次々と引き出されてきます。

このような社会情勢の下では、社会が大学教育に期待するもの、すなわち大学生に身につけてほしいと期待する力も当然変わってきます。もちろん、専門の知識・技能を身につけてほしい、これは変わりません。しかし、より一般的な実践的語学力、数理的リテラシー、情報リテラシー、コミュニケーション力、総合的な問題解決力等は、専門にかかわらず身につけて、汎用力のある若者を育ててほしいというのが、今日の社会のニーズなのです。さらに、このような専門的あるいは汎用的知識・技能だけでなく、自己管理能力、チームワークやリーダーシップ、あるいは倫理観、責任感といった態度までも身につけてほしい、というのも社会の強いニーズです。

では、このような力とはどのような学び方をすれば身につくのでしょうか。教師の説明をじっと聞き、出された問題を解き、答え合わせをする、というような小学校以来なじみ深い方法だけでは、とても難しいということは分かるでしょう。今、本学では、このような授業に代わってアクティブ・ラーニングと総称される授業が増えてきています。「アクティブ」すなわち「学生自身が積極的に」、「ラーニング」「学ぶ」、ということです。すなわち、教員が知っていることを教える授業だけでなく、正しい答えが分からない課題に学生たちが立ち向かい、解決方法を探して、自分たちなりの解決策を提案するという学びの形態です。したがって、授業中に少人数で話し合ったり、学生が前で発表したり、時には学生だけでミーティングや作業を行い、先生は意見や助けを求められたときだけ表に出てきたり、あるいは大学の外に出て調査や実体験をしたり、という授業が増えてきています。また、実践的語学力は、座学の後で実際に留学して仕上げるのが可能です。中国、アメリカ、ヨーロッパに協定校があります。

また、そのような学びを行いやすい教室や建物も増やしています。昨年の9月に竣工した新しい工学部新棟は、その建物全体が学科の区分を超え、研究室の垣根を越えたプロジェクト方式で、人々が集い、知恵を出し合い、正答のない問題に小さくてもよいので取り組み、協力して未知のものづくりを行うなど、新しいアクティブ・ラーニングの教育の理念の体現をもうろんだ造りになっています。この大学会館の3階にも、アクティブ・ラーニング専用の最新のICT機器のそろった、大変魅力的な教室がありますし、1号館1階には、語学のアクティブ・ラーニング専用の教室が2つ、昨年度末に完成し、皆さんを待っています。

さて、私たちは3.11を体験した世代です。いまだに終息しない東日本大震災と福島第一原発事故は、私たちの常識を大きく揺さぶりましたが、持続可能な社会を形成していくには、そしてその中で人間らしく生きていくには、社会の一員としての共同体感覚が不可欠であることを明確に示し続けています。本学でアクティブに学ぶ中で、仲間を作り、地域の人々と交わり、助けられ助ける経験を重ねて、この共同体感覚を養っていきましょう。「学問のみに偏重するのではなく、真理を愛し、道理を实践する知行合一の教育によって、人間性を尊重し、調和的な全人格陶冶を目指す全人教育」という建学の精神につながっていきます。

最後に、皆さんは一人ひとり、夢を持ってこの大学に入学されたことと思います。夢はいつか覚めます。覚めないようにするには、夢を具体的な目標にする必要があります。そして、目標達成のための手段を考え、計画を立て、試行錯誤を重ねながら実行していく必要があります。大学での学びを丸ごと、この目標実現のためのアクティブ・ラーニングにしましょう。

以上、私たち教職員は、皆さんの夢の実現を惜しみなく支援することをお約束して、入学式告辞とします。

平成26年4月3日

福山大学 学長 松田 文子





## 学業に合わせ資格取得も

本日の記念すべき佳き日に、平成26年度入学生のための入学式典が盛大に挙行されることにつき、心よりお祝い申し上げます。新入生の皆さん、入学本当におめでとうございます。皆様の入学を全教職員はじめ、在学生が心から歓迎いたします。

また、本日は新入生の保証人の皆様にも多数ご列席いただき、ありがたく厚く御礼申し上げます。大学としては、保証人の皆様が大切に大切にお育ていただいたお子様をお預かりするわけですから、知・徳・体の学力や体力を身につけるとともに国家試験や教員試験などの資格もきちんと取って、立派な社会人として巣立つよう責任を持ってお預かりすることにしておりますので、どうか安心してお任せいただきたいと思います。

さて、学校法人福山大学は福山大学と福山平成大学の2つを持っておりますが、大学の創立者元文部省大学学術局長であった宮地茂先生は、福山大学の建学の理念につき「全人教育」という立場から「調和的な全人格陶冶を目指す全人格教育を行い、国家・社会に役立つ有為な青少年を育成することにある」として、次の基本方針をたてられました。

- 一． 真理を探究し、道理を実践する。
- 一． 豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
- 一． 生命を尊重し、自然を畏敬する。
- 一． 個性を伸展し、紐帯性を培う。
- 一． 未来を志向し、可能性に挑む。

の5つの教育指針を示し、その実現に向かって大学の教職員が一丸となって努力するよう強く要望されました。まさにこの理念は、教育の普遍的目標となるもので、改めてその実現に向かって努力しなければならないと考えているところであります。

ご承知のように、この20年は「失われた20年」として政治の混乱、経済の低迷、さらには東日本大震災などもあり、大変な時期でありました。幸い、安倍内閣が始まってからは、アベノミクスによる金融緩和、財政出動、成長戦略などの経済政策により「経済の持続的成長を持たす構造改革」が着実に進められ、平成26年度は定昇などの賃上げやベースアップも図られるなど、経済全体に明るい展望が開けようとしております。

学校法人福山大学は、大学の目標として「地域・社会で働く中核的な人材の育成」をミッションに掲げ、国家・社会は勿論、取りわけ地域・社会を大切に、これらに貢献する有為な人材の育成を目標に努力することにしております。

一方、経団連、日経連、商工会議所では、企業等に貢献する人材として①自分のしっかりした意見を持つ学生②仕事がきちんとできる学生③リーダーシップを取れる学生④他人とコミュニケーションの取れる学生⑤課題を自ら見つけ、解決できる力のある学生⑥奉仕の精神を持ち世のため人のために尽くすことのできる学生⑦外国語でコミュニケーションが取れる能力のある学生、などを強く求めています。大学としては経済界の要望を踏まえ、学生の学習指導、生活指導の上でこれらの要望を実現するよう努力することにしております。新入生の皆さんもこのような経済界のニーズに応え、学業に合わせ日常生活の上でこれらの要望に応えるよう努力してほしいものとお願ひするところであります。

一方、私立大学としては我が国の大学、国公立782校(国立86、公立90、私立606)のうち、606校が、そして学生数287万人のうち、211万人が即ち高等教育の74%を担っており、その責任は誠に重大であります。学校法人福山大学としては、全教職員が一丸となってその国家的期待と使命に応えるよう努力することにしております。

さて、新入生の皆様に理事長として3つのお願いがあります。

その1つは、大学生となった以上は、自分が何を勉強し、どんな資格を取ったらよいかを自分でよく考え、きちんと決め、その目標に向かって日常的にしっかり努力してほしいことであります。

2つ目は、本学ではクラス担任制を取り、すべての学生について一人ひとりを教師がきちんと担任し、学習指導はじめ生活指導、就職や進学指導などを責任を持って行うことになっております。担任の教師とのコミュニケーションを日常的によく取り、何でも相談し指導を受けるようにしてください。勿論、学生ですから授業などには必ず出席し、学業に励むことは当然であります。

3つ目は、在学中にたくさんの友人を作してほしいことです。友人は学生時代はもとより、卒業後も生涯にわたって付き合っていくもので、どんな宝物よりも貴重な財産となります。学校法人福山大学には、外国からの留学生もおりますので、これらの留学生とも日常的に交流し、外国の文化、伝統や言語、習慣について学ぶとともに、日本の文化や伝統についても留学生に教えてあげてほしいと思います。

なお、学校法人福山大学の2つの大学は、18才人口が年々大巾に減っている中で、教職員たちの大変な努力により、志願者も増加しているとともに、就職についても全国平均を遥かに上回る実績を挙げており、「面倒見のよい大学」として大変ご好評をいただいております。

最後に、新入生の皆さん、大切に貴重な学生生活を夢と希望に満ちたものとするとともに立派な社会人となって、国家・社会で活躍する有為な人材となり、大切に育ててくださった保証人の皆様の期待に応えるよう、しっかり頑張ってもらいたいと心から願ひし、入学生へのお祝いの言葉といたします。

平成26年4月3日

学校法人 福山大学 理事長 清水 厚實





# 学習に取り組む前に

## 経済学部 大学生は自由



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから皆さんは、この福山大学で4年間を過ごすことになります。新入生の中には、何をしたいかわからずに悩んでいる人もいるでしょう。しかし、難しく考えることはありません。ただ、自分が思うようにやりたいことをすればいいのです。

例えば、サークルに入ったり自分の興味のあることを大学の設備を使って研究する、友人と旅行に行く、というようにいろいろなことに挑戦してください。

しかし、2つ注意しておくことがあります。1つ目は、やると言ったからには途中で投げ出さずに最後までやりきる、もしくはある程度の結果を出すことです。やはり面白くないからやめるなんて、子供のような事はやってはいけません。2つ目は、大学の授業をしっかりと受けることです。授業をサボらずに単位を落とさずに、余裕をもって4年間で卒業しましょう。

最後になりますが、4年間はあっという間に過ぎます。この4年間で楽しいものになるかどうかは皆さんの行動次第です。皆さんが誰かに自慢することのできる学生生活を送られることを願っています。

税務会計学科 4年 鐘尾 昌隆

## 人間文化学部 充実した学生生活を！ 私たちもサポートします！！



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの中には、学生生活は「4年間もある」と思っている人もいないのでしょうか。私も入学当初はそう思っていました。しかし、毎日が驚くほどあっという間に過ぎてしまい、3年次になった今は焦りを感じています。現在、私は中学校・高校の英語の教員免許を取得するために頑張っていますが、教員免許取得はどの教科においても相当な努力と覚悟が必要だということを、日々感じています。自分の専門科目だけを勉強すればよいのではなく、教育の歴史や方法論、生徒の心理や指導についての必須科目など、学ばなければならないことはたくさんあります。勉強を進める中で不安になることもあります。周りの友達の励ましや先生方の支えを力に、今も目標に向かって突き進んでいます。

皆さんも勉強、部活、友人関係やアルバイトなど、それぞれ不安や迷いを抱えていると思いますが、そんな時は1人で悩まず、友達や先生方に相談したり私たち先輩をどんどん頼ってほしいと思います。これまでの学生生活を基にアドバイスし、皆さんをサポートします！

新入生の皆さんが自分の目標を持ち、有意義な学生生活が送れるように祈っています。

人間文化学科 3年 三宅 奈々

## 工学部 様々な事にチャレンジしよう！



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学したばかりの今、期待と不安が入り混じった気持ちでいるのではないのでしょうか。そんな皆さんに、充実した学生生活を送れるようなアドバイスができればいいと思います。

まず、大学での勉強は、自ら積極的に取り組んでください。また、様々な専門授業を受ける中で、自分が興味を持てる分野を1つでも多く探してください。これは、将来配属されるゼミでの研究の目的につながります。1・2年次の講義は研究の基礎となりますので、しっかりと知識を蓄えていきましょう。また、勉強だけでは疲れてしまうので、サークル活動や大学祭などに参加して、様々な学年や学部の人たちと交流を深めてみてください。そこから得るものは大きいと思います。私自身、部活や大学行事などに参加して、様々な学年や学部の人たちと交流を深め、自分にとってプラスになることは積極的に参加してきました。皆さんも失敗を恐れず、自主性と積極性を持って様々な事にチャレンジし、有意義な学生生活を送ってください。

情報工学科 4年 守安 啓人



## 生命工学部 充実した学生生活を目指して!



青春の卓球部：全国大会出場へ！



大学祭での実験のデモンストレーション！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学に入学したばかりで、期待と不安で胸がいっぱいだと思います。これから学生生活を有意義なものにするためのアドバイスをしたいと思います。

大学では、自分の好きな授業を取ることができますが、興味のある分野だけでなく幅広く学習することによって自分の考えや可能性も広がるので、いろいろな授業を積極的に取りましょう。また、授業には真面目に出席して予習や復習を行うように心掛けましょう。その他にも、サークル活動や課外活動、大学祭などのイベントに積極的に参加することをお勧めします。福山大学には体育会系や文化系など、様々なサークルがあります。私は、数多くのサークルの中から卓球部を選びました。サークル活動に参加することで、仲間が増えたり、いろいろな思い出をつくることができます。先輩や友達と過ごすことでコミュニケーション能力が身についたり、自分自身が成長していくことができますと思います。

学生生活はあっという間に終わってしまいます。悔いの残らないように学習やサークル活動を行い、大学祭などを通じていろいろな学部の友人とも交流しながら、福山大学で充実した青春を送ることができるようにみんなで応援しています。

生物工学科 4年 青木 穂波

## 薬学部 実りのある学生生活を目指して!



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。様々な思いを胸に、福山大学に入学されたと思います。私が送ってきた5年間の学生生活で感じた事を基に、少しだけお話をさせていただきます。

まず、学生生活で何か1つでいいので頑張ることを見つけてください。それは、勉強、サークル活動、アルバイト、遊び、何でもよいと思います。後で学生生活を振り返った時に、何か1つでも頑張ったといえることがあれば、その後の自信にもつながると思います。次に、「大学を卒業した後、自分が何をしたいのか？」を考えながら学生生活を送ってください。6年間は長い様に思えて、すぐに過ぎてしまいます。自分の将来の目標を早いうちに決め、学生生活を自分の夢に向けて突き進む時間に当てられるようにするとよいと思います。

最後に、学生生活では幾度となく壁にぶつかることもあると思います。その時は1人で立ち向かうのではなく、多くの仲間たち・先輩・後輩の協力や先生方のアドバイスを活用しながら乗り越えていってください。そこで培った経験や仲間たちは、生涯に渡ってかけがえのないものとなると思います。多くの人と接し、様々な事にチャレンジして充実した学生生活にしてください。

薬学科 6年 鶴田 朗人





## 大学教育センターは学生の皆さんの学修を応援しています！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、在学生の皆さんも、新たな気持ちで新学期を迎えていることと思います。大学教育センターは、有意義な学生生活を送ろうとする本学学生の皆さんを学修面で応援しています。

大学教育センターの目的は、本学の教育システムを点検・評価・改善し、全学的な視点から大学教育に関する研究、企画、調整を行うことにより教育改革を進め、本学の教育の充実を図ることです。そのため、様々な部門で構成され、とりわけ学生の皆さんと直接深く関わりがあるのは、全学共通教育部門及び学修支援部門です。全学共通教育部門では、本学の教育理念、教育目標、教育システムに沿って共通教育を企画・運営しています。学生の皆さんが国際社会の中で社会人としてのスキルを身につけ、教養を深めて高い見識を持ち、豊かな人間性を培うためには“共通教育の役割”は大きく、そのため共通教育の充実を図っています。その一環として、学生の皆さんの共通教育科目に対するニーズ、よかった点や改善点などを把握して共通教育の改善に役立てるため、在学生を対象に「共通教育アンケート」を実施しています。また、新しい共通教育について語り合う会（学生参加による企画提案型の意見交換会）である、通称「フクトーク」を大会館ICT教室CLAF Tで開催しています。このフクトークを通じて、学修成果が期待できる魅力的なアイデア授業や新しい学びの創出につなげて共通教育の充実を図っています。平成24年度末に開催した第1回フクトークで、人気の高いアイデア授業、就活対策の「フク☆ナビ」や「就活トーク」、コミュニケーション力向上を図る「SGD」(スモール・グループ・ディスカッション)は、早速、昨年度後期にこれらの内容を積極的に採り入れたキャリア科目で試行し実現しました。第2回フクトークは、英語をテーマに昨年度末に開催し、歌や映画、パフォーマンス、SGDなどを利用したアイデア授業が数多く提案されました。このように、学生の皆さんのまとまった企画・提案をできるだけ授業に取り入れて学修成果の向上に取り組んでいます。学生の皆さんの「フクトーク」への積極的な参加が、新発想の授業創出と学修成果の向上につながります。

学生（特に新入生）の皆さんの中には、大学で学修するにあたって基礎学力や高校までの学習に不安を抱えている人もいるのではないのでしょうか。学修支援部門では、学修方法に迷いのある人、苦手科目を克服したい人、成績を上げたい人などを対象に、学部学科と連携して補習授業などを計画・立案・実施しています。具体的には、学修支援相談室（1号館3F・34号館3F）を開設し、学修方法の相談から具体的な問題の解法まで学修全般に関すること、就職など進路についての相談を受け付けています。前期と後期の始めに週間日程表を公開していますので、気軽に利用してください。また、学生の皆さんの自主学修を支援するeラーニングシステム（学修支援相談室と1号館ICT教室）も整備しています。eラーニング教材（数学、物理、化学、生物、SPI試験対策講座）での解説や演習問題で理解度を確認しながら、時間に拘束されずに自分のペースで学修できますので、積極的に利用して学力向上などに役立ててください。

また、本学では、教育の質向上を目指してよりよい学修環境作りのため、教育施設設備の充実も図っています。最近では、文部科学省が「大学力」の向上のため日本私立学校振興・共済事業団と共同して私立大学等が組織的・体系的に取り組む大学改革の基盤充実を図る「平成25年度私立大学等改革総合支援事業」において、本学は建学の精神を生かした大学教育の質向上に取り組んでいることが認められ、支援対象校に選定されました。そして、この事業に関連する「平成25年度私立大学等教育研究活性化設備整備事業」においてマルチメディア語学学修支援システム（GLLASS: Global Language Learning Active Support System）及びマルチメディア学修・教育システム（MILES: Multimedia Interactive Learning & Education System）が採択され、補助金の交付により1号館に整備されました。GLLASSでは、学生の積極的な講義への参加を促すアクティブサポートの充実化とeラーニングの積極的な導入で、自律的学修を促すアクティブ・ラーニングの充実化により語学教育の質が大幅に改善し、MILESでは、最新のICT設備と教材を活用するアクティブ・ラーニングや日本人学生と外国人留学生の交流でのグローバルコミュニケーション学修により技能・態度の学修成果向上にも重点を置いたフォローアップ教育が充実し、皆さんが国際性を培い異文化理解や多様な価値観を共有できる能力を涵養することを期待しています。これらのシステムは共通教育において活用されますので、学生の皆さんは学修成果の向上に大いに役立ててください。

大学教育センターでは、新学期にあたり学生の皆さんが希望に燃えて学修に臨み、友誼を深め、幅広い教養と専門分野の知識・技能・態度を身につけて豊かな人間性を培って社会に貢献できる人として成長することを期待しています。

大学教育センター長 鶴田 泰人



学生参加による企画提案型の新しい共通教育について  
語り合う会「フクトーク」



学修環境が整備されたマルチメディア語学学修支援システム「GLLASS」  
マルチメディア学修・教育システム「MILES」



# 夢と希望と誇りを胸に！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しいスタートラインに立った皆さんが、これから幅広い教養と学力を身につけ、専門的な学修を通じて人間力を培って、社会で活躍できる人に成長していくことを期待しています。本学では、「人間関係をつくりながら学ぶ目標設定型教育システム」に基づいた特色のある教育プログラムを実施しています。“確かな学士力”を身につけるという大きな目標に向かって着実に学修していく中で、ただ教わるのではなく、具体的な学修目標を掲げ、学生一人ひとりが“何をできるようになったか”という明確な“学修成果”の積み重ねが、社会で活躍できる力につながります。その意味では、主体性を持って学修に取り組んでいきましょう。

本学の教育課程は、共通教育と専門教育で成り立っています。共通教育課程の初年次教育科目「教養ゼミ」では、大学での学習スキルを学ぶだけでなく、仲間や教員と対話する機会が増えることで社会性が自然に養われます。開学以来続いている伝統的な「教養講座」は、各界の学識者を招いて講演会を開催しています。教養教育科目では、昨年度からE群(芸術と健康スポーツ)の「囲碁から学ぶ人間学」を開講し、地域について学ぶF群(地域学)も新設されました。また、各学部学科の専門教育課程にも特色のある科目を開講しています。本学の授業は講義形式だけでなく、スモール・グループ・ディスカッション(SGD)、問題解決型学習(PBL)など能動的な学修形態“アクティブ・ラーニング”も取り入れられています。授業への積極的な参加が、学修成果のさらなるアップにつながります。

学生の皆さんが学ぶ科目については、学生情報配信システム「ゼルコバ」を用いて事前に履修登録が必要ですが、シラバス(授業概要)をよく読んで、授業とその予復習なども含めた学修時間を確保するように心がけて履修計画を立てることが求められます。また、学業成績を総合的に判断する指標GPA(Grade Point Average)もよく理解しておきましょう。「学生便覧」や「教務のてびき」には、進級・卒業に必要な単位数などの規則や諸手続きが詳しく記載されています。不明な点は、クラス担任や教務課に気軽に相談してください。

新入生の皆さんが、大学生としての夢と希望と誇りを胸にチャレンジ精神を大いに発揮して、これからの学生生活が実り多いことを心から願っています。

教務委員長 坂口 勝次



楽しみながら論理的思考力・集中力や人生観を養う  
「囲碁から学ぶ人間学」  
(教養教育科目E群)



アクティブ・ラーニングで人間力を磨く  
構造物デザインプロジェクト  
(工学部みらい工学教育プロジェクト)

## 自分未来創造室

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まるキャンパスライフに大きな期待と希望を抱いていることでしょう。しっかりと目的を持って、充実した学生生活を過ごしてほしいと思います。学業に励むことはもちろんですが、サークル活動に打ち込む人、幅広い交流に努める人的ネットワークを築く人、アルバイト等にもトライする人などいろいろな学生生活を模索してもらいたいと思いますが、一点重要なポイントを忘れないでください。それは、ほとんどの人にとって、大学生活は実社会に出る前の最期のステージだということです。幼稚園・小学校時代からずっと、教育される待遇で過ごしてきた皆さんにとって、大学卒業後、実社会に出るということは人生において一大転機であるはずですが、この大きな転機をスムーズに乗り越えていくための準備も、大学生活において大きなウエイトを占めるわけです。

本学では、キャリア形成支援委員会が実社会に出るための準備に対して支援しています。インターンシップを通じて皆さんに実社会を体験してもらったり、カリキュラムの中でキャリア教育(キャリアデザイン等)を充実させたりしています。

ここで、皆さんにとって耳寄りな話があります。これら支援活動をより充実させ、大規模に活発化させるために、一昨秋に『自分未来創造室』を新設しました。正式には人材育成事業推進室といいますが、皆さんが実社会へスムーズに溶け込んで活躍し、将来素晴らしい人生を送ってほしいという願いも込めて、自分未来創造室という愛称を使用しています。文部科学省が進めている「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の一環として、従来の活動を発展させることとなったために新設されたもので、学内の1号館3階01325教室に開設されており、教職員の他に専属のスタッフも常駐していますので、気軽に訪れてみてください。

以上のように、自分未来創造室は、文部科学省のバックアップを得て皆さんの将来設計を支援しますが、当事者は皆さん自身です。自分の未来、自分の人生をしっかりと考えながら、自分未来創造室を活用してください。

キャリア形成支援委員長 布施 守雄





# 目標に向かって



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学での新しい日々に大きな希望を抱いていることと思います。今日を、素晴らしい学生生活の第一目としてください。

さて、新入生の皆さんの大学での目標は何でしょう。しっかりと勉強して、資格を取って、そして自分の希望の進路・就職先に進むことを目指しているのではないのでしょうか。また、課外活動やアルバイトなどを通じて、充実した日々を過ごすことを考えている人も多いと思います。何に重点を置くかは、自分で決めてください。もちろん、勉強を怠ると進級や資格取得に失敗したり、就職活動の妨げになったりもします。一方で、実社会では知識や思考能力だけでなく、決断する力、忍耐強くチャレンジする姿勢、仲間と力を合わせて問題を解決する力、仲間を気遣う心、といった総合的な力(人間力)が必要です。大学でもアクティブ・ラーニングを取り入れた授業でこのような力を養うことができますが、これを役立てるためにはもっと経験値を増やさなくてはなりません。いろいろなことにチャレンジして、多くの失敗と成功を体験する必要があります。サークル活動やボランティア活動は、人間力を磨く絶好の機会です。すでに、サークル紹介や入部手続きは始まっています。是非、参加してみてください。

また、大学では、自主・自律が重んじられます。例えば、履修や奨学金、通学などの手続きはすべて自分で行います。これらの手続きについては、オリエンテーションで説明しますが、掲示等でも必ず確認してください。大学にはホームルームの時間がないので、掲示板と学生情報配信システム「ゼルコバ」がとても重要です。また、ホームルームがないことで、授業ごとに先生だけでなく教室や学生も入れ替わります。自分の教室や机がないことに不安を感じるかもしれませんが、大学での生活リズムを身につけ、友達をつくることができれば、きっと大学での居場所も見つかります。4月5日(土)・6日(日)に行われる新入生合宿オリエンテーションでは、相談に乗ってくれる先生や先輩、そして友達を探してみてください。もし、それでも不安なことがあれば、クラス担任やカウンセラーなどの教職員が相談に乗ってくれます。

新入生の皆さん、目標に向かってそれぞれの第一歩を踏み出してください。

学生委員長 菊田 安至

## 就職活動への取り組み ―支援体制について―



就職指導の様子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。リーマンショック以降の就職氷河期が終わり、就職状況も回復してきました。経済状況や景気が本格的に回復しつつありますが、売り手市場になるまでは、もう少し時間がかかる状況です。このような現状の中で、就職活動を真摯に取り組み、戦略的に就職活動をすることにより、ほとんどの学生が内定を手にするできるようになりました。本学では、卒業・修了予定の学生の皆さんに様々な就職支援を行っています。就職支援は、大きく分けて学生の就職活動の支援と学生の就業力育成の支援の2本柱があり、就職活動を直接的に支援する委員会が就職委員会です。また、就業力を育成するための委員会がキャリア形成支援委員会です。この就職委員会とキャリア形成支援委員会が、相互に協力して学生のキャリア形成や就職支援を行う体制を採っています。

就職委員会では、就職課と協力して就職相談・履歴書の書き方指導、個人面接・集団面接・グループディスカッション指導など

を運営しています。これに加えて、ハローワークから派遣されるジョブサポーターやCDAの資格を保有するキャリアアドバイザーによる就活相談体制を採っています。また、学生情報配信システム「ゼルコバ」を用いたWEB就職システムを導入して、就職委員・ゼミ担当教員・就職課が連携して学生一人一人の就活状況や面談記録などの情報を把握して、強固な就職支援体制を採っています。さらに、卒業予定者を対象とした「合同企業説明会」や企業との情報交換のための「企業懇談会」を実施しています。

一方、就業力育成の支援は、キャリア形成支援委員会が中心になり運営しています。学生時代に、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることが極めて重要です。キャリア形成支援は、就職活動への直接的な支援ではなく、就職後の社会人として立派に活動してもらうための支援であり、社会における責任感、マナー、コミュニケーション能力などいわゆる社会人基礎力を身につけてもらうためのものです。これらを身につけることで、就職戦線を有利に戦えることにもなります。具体的には、各学年を通じた系統的なキャリア教育の実施、各種資格の取得やインターンシップへの参加に対する支援などであり、インターンシップは「学生が在学中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」です。本学では、実社会に有為な人材の育成を主眼におき、教育の一環としてインターンシップを推進しています。

就職委員長 三谷 康夫



# 学友会短信

## 【サッカー部】

- 1月26日～3月9日 第24回仁紫カップサッカー大会出場
- 2月25日 第28回デンソーカップチャレンジサッカー西都市大会出場 選拔選手: 峯恭平(経済学科3年), 加次佑(経済学科1年)
- 2月25日～3月2日 第8回近隣大学サッカーフェスティバルin福山へ出場
- 1月22日 広島サッカー協会主催サンクスフェスタ及び2月1日第19回福山サッカー協会コメンシップ2014において優秀選手表彰受賞 加藤紘将(経済学科4年), 坪根毅士(経済学科4年), 日高直(経済学科4年), 山田帆久斗(経済学科4年), 伊田聡一郎(経済学科3年), 福山サッカー協会から表彰受賞

## 【陸上競技部】

- 12月1日 第57回中国四国学生駅伝競走大会出場
- 1月25日 中国山口駅伝競走大会出場
- 2月16日 第97回日本陸上競技選手権大会 男子20km 競歩出場 廣藤耕一(経済学科4年)

## 【剣道部】

- 12月1日 第7回広島県学生剣道選手権大会出場
- 1月26日 第6回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会広島県予選会 優勝: 野口真奈美(人間文化学科1年), 広島県代表として第6回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会へ出場

## 【卓球部】

- 12月6日～7日 第45回中国学生新人卓球選手権大会出場
- 2月14日～15日 第14回中国学生卓球連盟幹事長杯争奪卓球大会出場



## 【柔道部】

- 11月23日 広島県学生柔道大会出場

## 【弓道部】

- 11月30日 第41回学生弓道新人戦5名出場
- 2月18日 第20回中四国学生弓道新人戦7名出場

## 【ラグビー部】

- 9月1日～12月15日 平成25年度第53回広島県リーグ戦出場
- 3月2日 第49回広島県ラグビーフットボール選手権大会出場

## 【水泳部】

- 12月3日 (財)広島県東部スイミング財団主催 平成25年度優秀選手表彰 小笠原菜子(薬学科2年)
- 9月6日～8日 第89回日本学生選手権水泳競技大会出場

## 【実践空手部】

- 2月23日 第19回全日本実践空手道オープン選手権大会出場

## 【硬式庭球部】

- 11月9日～13日 平成25年度学年別チャレンジトーナメント大会出場
- 2月22日～3月2日 平成25年度中国四国学生テニス新進トーナメント大会出場

## 【軟式野球部】

- 11月25日～29日 西日本地区学生軟式野球秋季II部リーグ戦第4位 ベストナイン三塁手部門: 隅岡弘一(経済学科2年)

## 【スキー部】

- 12月21日 スキーツアー(ユートピアサイオト)46名参加
- 1月18日 スキーツアー(広島県民の森スキー場)40名参加
- 2月24日 スキーツアー(大山ホワイトリゾート)36名参加



## 【スポーツ雪合戦同好会】

- 11月29日 第7回ふくやまスポーツ雪合戦大会出場及び大会運営
- 12月8日 第6回室内雪合戦東広島大会出場
- 12月14日 スポーツ雪合戦教室開催 幸千中学校生徒, 教員, 保護者PTC活動

## 【YRC(ボランティア)部】

- 12月23日 街頭献血活動inポートプラザ(広島県赤十字血液センター主催)参加
- 定期清掃活動クリーンウォーキング JR松永駅・JR福山駅・芦田川(月3回)

## 【管弦楽団】

- 11月9日 走島町文化祭へ演奏参加

## 【漫画研究会】

- 11月15日 マングのちから展「満田拓也の世界」のポスター制作・展示

## 【学友会執行部】

- 12月23日 街頭献血活動inポートプラザ(広島県赤十字血液センター主催)参加
- 1月24日 平成26年度執行部役員選挙実施

学務部 学生課



## ソフィア大学での交換留学を終えて

経済学部 国際経済学科 3年 岡田 璃奈  
(広島県立大門高等学校出身)



アレクサンドル・ネフスキー大聖堂  
ソフィア大学の近くにあり、ブルガリア総主教の本拠地でブルガリア最大の大聖堂



エラスムス主催の旅行中に登山したときの山頂での記念撮影  
一緒に写っているのは、ブルガリア人とルーマニア人

私は半年間、ブルガリアのソフィア大学へ留学しました。中学生の頃から英語に興味があり、いつか留学することが私の1つの夢でした。1期生だったのでわからないことが多くて最初は不安でしたが、いろいろな人が親切にしてくれて生活にもすぐ慣れました。

そして、授業も充実していてマーケティングの授業では街に出てインタビューしたり、みんなの前でプレゼンしたりと学生主体の授業だったため、英語を話す力が必要でした。それと、ブルガリア人は全員が英語を話せるわけではないので、生活していくためにブルガリア語の授業も取りました。日本語に親しみのない規則がたくさんあって難しかったですが、英語で何か別の言語を学ぶのは英語の勉強にもなりましたし、面白かったです。

また、ヨーロッパにはエラスムスという留学制度があり、いろいろな国からブルガリアに留学に来ているので、たくさんの国の人と出会うことができました。そこでのコミュニケーション手段は、やはり英語です。宗教や文化の全く違う人たちと会話をするのはとても刺激的で楽しく、それを可能にしてくれる英語の素晴らしさを改めて実感すると同時に、もっと英語が喋れるようになりたいという気持ちが強くなりました。

たった半年でしたが、たくさんの貴重な経験ができました。そして、何より一生の友達に出会うことができました。

## 留学体験記

人間文化学部 人間文化学科 ソフィア大学交換留学生  
アンゲロヴァ・エルカ・アントノヴァ



初着物

福山大学へ留学に来る前は、不安がいっぱいありました。勉強のこと、友達のこと、生活のことなどです。しかし、日本に来てからは福山での生活に早く慣れてきました。福山は山に囲まれた町なので、綺麗で住みやすいところです。また、海に近い町なので初めて沢山美味しい魚料理を食べました。大学の食堂でもいろいろな料理を食べて、日本の全ての食べ物が口に合いました。

福山大学でたくさんの友達ができ、毎日楽しく過ごしています。日本文化について興味があるので、後期は伝統的な祭りや芸能が学べる授業を受けました。授業は、日本人学生と一緒に受けたので、彼らがどんな勉強をして、どのように自国文化を紹介するのかを知ることができて、本当に面白かったです。また、初めて陶芸も勉強しました。以前からずっと興味がありましたが、ブルガリアの大学では、なかなか陶芸を習うチャンスがないので福山大学で陶芸の初体験ができて、本当によかったです。



宮島で初詣

また、大学の語学交換プログラムに参加して、たくさんの新しい友達ができました。英語や日本語を教えあったり、いろいろな話をしてお互いの文化や習慣を知ることができました。このように、いろいろな人々と出会い、福山大学での生活がもっと楽しくなりました。



## 心理学科の団体が福山市「善行市民賞」を受賞！



昨年の12月14日(土)、ふくやま芸術文化ホールで開催された第46回福山明るいまちづくり推進大会で、心理学科の団体が福山市「善行市民賞」を受賞しました。受賞したのは、犯罪心理学研究室が主なメンバーであるPACE福山支部という団体です。PACE福山支部は、2006年度から福山市内を中心に、小学校で年間約15校「地域安全マップ」作製指導を行っています。「地域安全マップ」は、地域の環境に注目して安全な場所と危険な場所を見分ける能力を小学生に身につけてもらう活動です。小学校の授業の中で実施するのですが、児童のみならず参加された教職員、保護者、地域ボランティアの方々まで、自分たちの地域を自らの手で安全・安心なまちにしていこうという意識が芽生えてきます。大学生が指導者となるため、とても温かな雰囲気で行われています。

また、PACE福山支部は、昨年の5月18日(土)・19日(日)に行われた第46回福山ばら祭において、福山市の依頼で子どもの安全に関するクイズを取り入れたオリエンテーリングを企画・運営しました。好評であったため、今年の5月17日(土)・18日(日)の第47回福山ばら祭でも同様のイベントを依頼されています。このように、今回の受賞を機に、福山市の安全と活性化に向けてのさらなる活動が期待されています。

心理学科 教授 平 伸二

## 笠岡市教育委員会との連携協力について



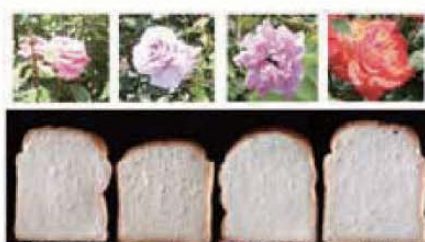
昨年の12月26日(木)、笠岡市教育委員会において、福山大学と笠岡市教育委員会は連携に関する協定を結びました。福山大学による岡山県下での連携協定は、はじめてのことです。まず、松田文子学長より、協定書調印に至るまでの関係者の理解と協力への謝辞が述べられ、「2001年よりカブトガニ博物館での学生の実習がきっかけとなり、徐々に交流が深まり、教職課程でも講師の派遣などで大変お世話になっています。連携協定締結の暁には、より深くより強く、この良好な関係を発展させていきたいので、これからもよろしくお願いいたします。」との挨拶がありました。続いて、浅野文生教育長より、「福山大学と笠岡市教育委員会の連携協定が調印できることを大変嬉しく、ありがたく思います。福山大学とは2009年のカブトガニの生態調査での共同研究から始まり、これは5年間続きました。また、笠岡市総合計画審議会の会長には、経済学部的小林正和准教授にお世話になっていますし、教職課程では、福山大学に岡田達也課長を派遣しています。カブトガニの環境保護運動や保護啓発活動を軸にして、お互いの活性化をはかり、発展に繋げていきたいです。」との挨拶がありました。会場は、終始和やかな雰囲気に包まれ、厳かなうちにも温もりを感じられる調印式でした。

総務部 企画・文書課

## 「福山バラの酵母」プロジェクト



福山市園芸センターでのバラの採取



甘い味わい もちもち感 濃厚な食味 強い香り

酵母の個性がパンの個性に!!

「福山バラの酵母」が創り出すパンの個性

福山市は、2016年に市制施行100周年を迎えます。私たちの研究室では、「ぬまくま夢工房」と「福山市」と「福山大学」の産官学連携で、「100万本のばらのまち」のキャッチコピーのもと、福山産のバラの花から酵母を分離して、地場産品の開発・発信に活かす事業を手がけています。

福山市で栽培されている45品種のバラの花を採取し、そこから400株ほどの野生出芽酵母を分離して、製パンに適した4種の酵母を選別しました。実際にパン工房

で製パンを行い、これら4種の酵母の個性がパンの個性(膨らみ、焼き色、食味など)に鮮烈に現れるという驚きの結果が得られました。この成果は、毎日新聞や朝日新聞などにも取り上げられています(生物工学科のHPを参照)。さらに、近畿中国四国農業研究センターの協力で「福山バラの酵母」によるパンの電子顕微鏡観察を進めており、酵母が引き出すパンの個性を科学しています。また、地場産の小麦と「福山バラの酵母」を紡いで、オール備後のパンの開発も企画しています。私たちの研究室では、基礎的な生物多様性の研究を推進してきましたが、それをベースにして今回のプロジェクトが始動し、地元のネットワークを拡大しながら地域貢献へとつながっています。

今後、「福山バラの酵母」をドライイーストにすることを計画しており、これらを製パン業界へ普及させるとともに今春から始まる福大ワインプロジェクト(生物工学科)においては、地場の酵母をワイン醸造へ適用したいと考えています。自家栽培したブドウと地元産の酵母のハーモニーによるオール備後の美味しいワインづくりは、教育・研究に大きな役割を果たすでしょう。

生物工学科 教授 久富 泰資



# 行事予定

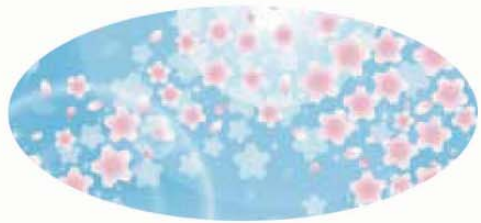
## 平成26年度 主要行事日程予定表

|                   |                        |                   |                         |
|-------------------|------------------------|-------------------|-------------------------|
| 4月1日(火)           | 前期(4/1～9/15)           | 10月17日(金)～20日(月)  | 大学祭(三蔵祭)・学長杯争奪球技大会      |
| 4月3日(木)           | 入学式                    | 11月7日(金)～8日(土)    | 平成27年度推薦入学試験(A日程)       |
| 4月3日(木)～4日(金)     | 学内オリエンテーション(新入生)       | 11月25日(火)         | 教職員健康診断(特殊健康診断を含む)      |
| 4月4日(金)～5日(土)     | 学内オリエンテーション(在学生)・各種説明会 | 12月下旬             | 3年次生保証人との就職懇談会          |
| 4月5日(土)～6日(日)     | 新入生合宿オリエンテーション・セミナー    |                   | (経済学部・人間文化学部・工学部・生命工学部) |
| 4月7日(月)～16日(水)    | 定期健康診断(学生)             | 12月6日(土)          | 平成27年度推薦入学試験(B日程)       |
| 4月7日(月)           | 前期授業開始                 | 12月19日(金)         | 授業終了                    |
| 4月5日(土)～16日(水)    | Web履修登録                | 12月21日(日)         | 冬季休業開始                  |
| 4月19日(土)～24日(木)   | Web履修登録確認期間            | 12月27日(土)～1月4日(日) | 仕事納め 年末・年始休業            |
| 4月下旬              | 6年次生保証人との就職懇談会(薬学部)    | 1月4日(日)           | 冬季休業終了                  |
| 5月15日(木)          | 開学記念日・学長杯争奪球技大会        | 1月5日(月)           | 仕事始め 授業開始               |
| 5月20日(火)～22日(木)   | 教職員健康診断(特殊健康診断を含む)     | 1月17日(土)～18日(日)   | 大学入試センター試験              |
| 7月26日(土)          | 前期授業終了                 | 1月30日(金)          | 後期授業終了                  |
| 7月28日(月)～8月5日(火)  | 前期定期試験                 | 1月31日(土)～2月3日(火)  | 平成27年度前期入学試験(A日程)       |
| 8月6日(水)           | 夏季休業開始                 | 2月4日(水)～14日(土)    | 後期定期試験                  |
| 8月23日(土)～9月14日(日) | 教育懇談会                  | 2月16日(月)～28日(土)   | 学部・学科別行事                |
| 9月16日(火)          | 後期(9/16～3/31)          | 2月21日(土)          | 平成27年度前期入学試験(B日程)       |
| 9月20日(土)          | 夏季休業終了                 | 3月1日(日)           | 春季休業開始                  |
| 9月22日(月)          | 後期授業開始                 | 3月上旬              | 企業懇談会                   |
| 9月中旬～10月中旬        | 大学院入試(経済学,人間科学,工学,薬学)  | 3月14日(土)          | 平成27年度後期入学試験            |
| 9月中旬～10月下旬        | 公開講座                   | 3月20日(金)          | 学位記授与式(卒業式)             |
| 10月5日(日)          | 平成27年度指定校入学試験          |                   |                         |

【備考】本予定表は全学的な関係行事に限定したもので、各学部・各部局・各委員会などについては、その都度必要に応じて月間予定表に記載されます。

## 4月の行事

|          |                                   |           |                                   |
|----------|-----------------------------------|-----------|-----------------------------------|
| 4月3日(木)  | 入学式                               | 4月11日(金)  | 定期健康診断【午前女子/午後男子:1・3・5年次生・院D2・D3】 |
|          | 新入生オリエンテーション                      | 4月14日(月)  | 定期健康診断【男子:1・3・5年次生・院D2・D3】        |
|          | オリエンテーション 【薬学部6年次生】               | 4月15日(火)  | 定期健康診断【午前男子/午後女子:1・3・5年次生・院D2・D3】 |
| 4月4日(金)  | 新入生オリエンテーション                      | 4月16日(水)  | 定期健康診断【午前男子/午後女子:1・3・5年次生・院D2・D3】 |
|          | 学科別オリエンテーション 【2・3年次生】             | 4月5日(土)～  | Web履修登録                           |
|          | 各種説明会 【2～6年次生】                    | 4月16日(水)  |                                   |
| 4月5日(土)  | 新入生合宿オリエンテーション                    | 4月19日(土)～ | Web履修登録確認期間                       |
| 4月6日(日)  | 新入生合宿オリエンテーション                    | 4月24日(木)  |                                   |
| 4月7日(月)  | 授業開始                              |           |                                   |
|          | 定期健康診断【午前男子/午後女子:2・4・6年次生・院M2・D3】 |           |                                   |
|          | 学科別オリエンテーション 【4・5年次生】             |           |                                   |
|          | 各種説明会 【2～4年次生】                    |           |                                   |
| 4月8日(火)  | 定期健康診断 【女子:2・4・6年次生・院M2・D3】       |           |                                   |
| 4月9日(水)  | 定期健康診断 【男子:2・4・6年次生・院M2・D3】       |           |                                   |
| 4月10日(木) | 定期健康診断 【男子:2・4・6年次生・院M2・D3】       |           |                                   |



## 編集後記

三蔵の丘の桜が咲き、真新しいスーツに身を包んだ新入生を見ると、キャンパスに一気に春が来たという雰囲気になります。「春植えざれば秋実らず」という諺もあります。新入生の皆さんには学修だけでなく、サークルや部活にも積極的に取り組んで充実したキャンパスライフを送り、4年後あるいは6年後に実りを得て欲しいと思いながら編集しました。

発行 福山大学  
編集 福山大学広報委員会  
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵  
TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>